

解説 1 ニューラルネットワーク, ディープラーニング Neural Network, Deep Learning

p.171

ニューラルネットワークとは、情報処理システムにおいて人間の脳の中にある神経細胞とそのつながりを数式で表現したモデルの総称である。階層型ニューラルネットワーク、リカレントネットワークなど、さまざまな種類がある。富士電機は、1990年代から継続的にニューラルネットワークの実用化研究を行い、さまざまなシステムへの適用実績がある。

ディープラーニングとは、ニューラルネットワークの一

種であり、層数が多いネットワーク構造そのものである。単純に層数を多くしたディープニューラルネットワーク、画像処理用に工夫した畳み込みニューラルネットワーク、テキスト認識用に工夫した LSTM (Long Short-Term Memory) などがある。2000年代以降、学習アルゴリズムの発展と計算機能力の向上により学習性能が大幅に向上し、近年の第三次 AI ブームの中心的な技術となっている。





*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。